

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	番号 ばんごう	上の句 かみく	下の句 しもく	作者 さくしゃ
<p>いつのまにあきになりそらみあげ いつの間に秋になり空見上げ</p>	<p>夏の空恋い焦がれてくあなたとは なつのそらこいこがれてくあなたとは</p>	<p>夏休み親戚と行く浦富で なつやすみしんせきといくうらどめで</p>	<p>散り行くは若葉が萌ゆる葉桜や ちりゆくはわかばがもゆるはぎくらのや</p>	<p>天の川夜に美し輝いて あまのがわよるにうつくしかがやいて</p>	<p>夏休みたくさんの事が泣きながら なつやすみたくさんのことがなきながら</p>	<p>春矢先置いてかないでと願う弟 はるやさきおいてかないでとねがうてい</p>	<p>さくら舞う卒業式の椅子の上 さくらまうそつぎようしきのいすのうえ</p>	<p>春風になびき流れる桜の葉 はるかぜになびきながれるさくらののは</p>	<p>初恋の好きな人への恋心 はつこいのすきなひとへのこいごころ</p>	番号	上の句	下の句	作者
<p>空が宝石の様涙する</p>	<p>時過ぎるのも気づかぬような そらがほうせきのようなみだする</p>	<p>みんなでおよぐと夏が来る ときすぎるのもきづかぬような</p>	<p>華はなくとも風情ありかな みななどおよぐとなつがくる</p>	<p>一年一年恋寂しさに いちねんいちねんこいさびしさに</p>	<p>早く終わらせる来年は速く はやくおわらせるらいねんははやく</p>	<p>始まりはいつも終わりの始まり はじまりはいつもおわりのはじまり</p>	<p>こらえた涙が溢れ出す こらえたなみだがあふれだす</p>	<p>あれを追えばどこに続くのか あれをおえばどこにつづくのか</p>	<p>桜と共にただ散っていく さくらとともにただちたっていく</p>	番号	上の句	下の句	作者
<p>☆青猫☆</p>	<p>レネードが好きな緑髪</p>	<p>堇</p>	<p>愛夢華民求 (あいむかみんぐ)</p>	<p>みゆゆ</p>	<p>せんちゃん</p>	<p>もず。</p>	<p>ふうなん</p>	<p>PYONびよん</p>	<p>チョコバナナ</p>	番号	上の句	下の句	作者